

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 12 日現在

機関番号：17501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23730522

研究課題名(和文) ホームレス・生活困窮者の包括的支援に向けた政策枠組みの検討および理論的分析の展開

研究課題名(英文) A Study on the Framework of Policies for Homelessness and Poverty

研究代表者

垣田 裕介 (Kakita, Yusuke)

大分大学・福祉社会科学部研究科・准教授

研究者番号：20381030

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円、(間接経費) 990,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本のホームレス・生活困窮者支援に求められる支援の内容や課題をふまえて、包括的支援に向けた政策枠組みの検討および理論的展開を行うことを目的としたものである。研究の具体的内容として、第1に、ホームレスや生活困窮者に対して包括的支援を行っている先進的事例の調査および検討を行った。第2に、先進的な支援実践や個別ケースの分析をとおして、政策枠組みや実践課題の検討を行った。第3に、生活困窮者自立支援法の平成27年度施行を控え、支援現場や政策担当者へのインタビュー等を交えて、同法のもとでの支援策のあり方や、隣接する生活保護制度やホームレス対策等を視野に入れた課題の検討を行った。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is surveying on the framework of policies for homelessness and poverty, through some kind of fieldwork.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：貧困 社会的排除 差別 ホームレス

1. 研究開始当初の背景

日本のホームレスの実態や定義的範囲について、野宿生活者のみでなく、野宿生活に陥るおそれのある者や不安定な居住状態にある者も視野に入れて、広義のホームレスとして実態や支援策の議論が進められつつある。本研究では、野宿状態を脱した元野宿生活者や野宿生活に陥るおそれのある者を視野に入れて、研究対象としてホームレス・生活困窮者を掲げている。

政策面においては、10年間の時限立法で平成14年に制定されたホームレス自立支援法が、本研究期間中の平成24年に期限を控えて、同法の政策評価の観点や、ホームレス・生活困窮者への支援策のあり方に関する検討を盛り込んだ調査研究を行う意義があると考えた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、日本のホームレス・生活困窮者支援において求められる支援の内容や課題について、全国レベルの実態や支援現場の個別ケースにもとづいて明らかにするとともに、国内・国外の研究および支援現場の動向をふまえて、ホームレス・生活困窮者の包括的支援に向けた政策枠組みの検討および理論的分析の展開を行うことにある。

3. 研究の方法

上記の研究目的を達成するため、本研究では、第1に、研究代表者が企画・実施に携わっている大規模なホームレス調査およびパーソナル・サポート・サービス事業のデータを用いて、ホームレス・生活困窮者の支援課題の実態分析を行った。第2に、ホームレス・生活困窮者の支援に関する国内外の理論的分析のレビュー、および日本への適用可能性の検討を行った。第3に、各地でのインタビュー等のフィールドワークをふまえて、ホームレス・生活困窮者の包括的支援に向けた政策的枠組みの検討を行った。

4. 研究成果

本研究では、ホームレス・生活困窮者の実態分析をふまえて、包括的支援に向けた政策枠組みの検討を行った。

具体的には、第1に、ホームレスや生活困窮者に対して包括的支援を行っている先進的事例の調査を行い、第一線の支援現場が直面する課題を把握することができた。第2に、先進的な支援実践や個別ケースについて、タイムスタディを取り入れた分析を行い、支援内容や効果の可視化を行うことができた。第

3に、生活困窮者自立支援法の平成27年度施行を控え、支援現場や政策担当者へのインタビュー等を交えて、同法のもとでの支援策のあり方や、隣接する生活保護制度やホームレス対策等を視野に入れた課題の検討を行うことができた。

以上のとおり、本研究では、先進的な支援実践やケースを対象として独自の実態分析を行った結果、ホームレス・生活困窮者の支援の過程において、所得・居住・ケアをパッケージとした包括的支援の必要性や、その安定的かつ継続的な提供に向けた政策的・実践的課題を明らかにした。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4件)

垣田裕介「これからの生活困窮者支援策のあり方と課題 地域の支援資源と取り組み事例」『月刊福祉』7月号、全国社会福祉協議会、28-31頁、2013年6月。

岩田正美・水内俊雄・垣田裕介「対談 日本のホームレスの最新動向と今後の支援策のあり方 2012年全国調査をどう読むか」『ホームレスと社会』7号、明石書店、93-100頁、2012年12月。

水内俊雄・垣田裕介「『広義のホームレスの可視化と支援策に関する調査』の概要」『ホームレスと社会』5号、72-80頁、2012年1月。

垣田裕介「パーソナル・サポート型支援による社会的包摂の可能性 貧困に対する社会政策の論点と課題」『大分大学経済論集』第63巻第4号、27-49頁、2011年11月。

[学会発表](計 2件)

垣田裕介「生活保護受給者の就労・社会参加に向けた支援策のあり方 若年者支援モデル事業の試み」(The Requirement for Employment and Social Participation of Recipients of Public Assistance: Continually Providing Personal and Comprehensive Support Services)、第9回社会保障国際フォーラム、於：中国・杭州/浙江大学、2013年8月。

垣田裕介「現代日本の貧困をどう捉えるか」日本医療社会事業全国大会・日本医療社会事業学会おおいだ大会、於：大分/別府市国際コンベンションセンター、2011

年5月。

〔図書〕(計 2件)

奥田知志・稲月正・垣田裕介・堤圭史郎『生活困窮者への伴走型支援 経済的困窮と社会的孤立に対応するトータルサポート』明石書店、2014年3月。

垣田裕介『地方都市のホームレス 実態と支援策』法律文化社、2011年6月。

〔その他(研究会等での報告)〕(計 12件)

稲月正・垣田裕介「ホームレス支援におけるアフターケアの内容と効果 三団体の支援記録の量的・質的分析」地域生活安定化支援事業パイロット事業報告会、於：東京/人権教育啓発推進センター、2014年1月28日。

佐藤佳美・稲月正・垣田裕介「パーソナルサポートサービスの実践と今後の課題について 福岡絆プロジェクト事業報告ならびに事業評価」福岡絆プロジェクト共同事業体事業報告会、於：福岡/福岡市民会館、2013年11月2日。

垣田裕介「生活困窮者の社会的包摂に向けた個別的・包括的支援サービス」第2回インクルーシブ医療研究プロジェクト研究会、於：京都/京都民医連第2中央病院、2013年8月22日。

垣田裕介「地方都市からみた貧困の実態と支援策」第15回山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会社会福祉セミナー、於：山口/山口県立大学、2013年8月3日。

垣田裕介「今日の貧困・生活困窮の実態と支援のあり方を見る眼」シンポジウム「今日の格差拡大・貧困化と社会保障の課題」、於：福岡/健和会地域交流センター、2013年5月11日。

垣田裕介「生活困窮者に対する伴走型支援の効果と課題」臼杵市貧困研究会、於：大分/臼杵市役所、2013年3月1日。

垣田裕介「地方都市のホームレス 大分の実態と支援策」大分大学経済学部地域経済研究センター第15回セミナー、於：大分/大分大学、2012年7月4日。

垣田裕介「パーソナル・サポート型支援による貧困克服の道すじ」貧困問題研究会さが、於：佐賀/アイスクエアビル、2012年1月16日。

垣田裕介「ホームレス支援における今日の課題と論点 『広義のホームレスの可視化と支援策に関する調査』の結果から」大阪市政調査会「自治体セーフティネット研究会」、於：大阪/大阪市役所、2011年9月8日。

垣田裕介「『広義のホームレスの可視化と支援策に関する調査』の結果と論点 ホームレス支援枠組みの政策論議に向けて」シンポジウム「ホームレス自立支援法と社会保障制度」、於：東京/豊島区立勤労福祉会館、2011年9月4日。

垣田裕介「広義ホームレスの実態と支援策の検証、政策枠組みの展望」北九州ホームレス研究会、於：福岡/北九州市立大学、2011年6月17日。

垣田裕介「日本におけるホームレス支援策の展開と政策枠組みの展望」大分大学地域経済研究センター研究会、於：大分/大分大学、2011年5月19日。

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

「垣田裕介の研究室」
<http://www.gsssa.oita-u.ac.jp/kakita/index.htm>

6 . 研究組織

(1)研究代表者

垣田 裕介 (Kakita Yusuke)
大分大学・福祉社会科学研究科・准教授
研究者番号：20381030

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

なし